

国際ロータリー第 2790 地区

第 2 回 DL ブラシュアップ研修会報告書

地区研修委員会委員長 白鳥 政 孝

R L I 小奉仕委員会

委員長 海 寶 勘 一

報告書担当

副委員長 金 子 公 久

本年、第 2 回 DL ブラシュアップ研修会を 11 月 14 日（月）に千葉市民会館において第 2790 地区内 RLI の DL 養成講座を受講された方々を対象に開催いたしましたので、ご紹介し報告いたします。

DL 養成講座を終了されても、DL（デスクアッション・リーダー）を務めるには、日頃からロータリーの情報に精通し、DL として教養を身につける事で、ファシリテーターとしての役目を務める技量を日々研鑽し、積み重ねて、何時でも DL としての能力を如何なく生かせる準備が必要です。

その準備とは、RLI のパートごとの各セッションカリキュラムを受講者に伝搬し、参加者同士の意見を引き出し交流させるために対話の交通整理役に徹することであり、知識を強制的に伝授することでは無い事を理解し、そのため技量を高める日々の自己研鑽、自分磨きを粛々と努める努力が求められます。この努力は RLI を受講されるロータリアンへ心遣いの一つの現れではないでしょうか。

本年度地区 RLI 小委員会は、DL の自己研鑽と技量アップの能力向上を図る為、3 回の研修会を企画しました。一つは、ロータリーの最新情報の習得と相互意見交流を。二つは、DL の任務を理解することを通じて、DL の本質を再認識と DL の進め方の意見交流を。三つは、16-17RLI パート I ~ III 開催を想定した DL の実践研修を計画しました。

さて、今後の地区委員会活動として RLI を地区に根付かせることが課題であり、その為地区内の DL 養成講座修了者が核となり、また地区 RLI 委員会がその運営に際しての調整役割を務めるに際しては、手作りの企画や運営が委員会活動の要と捉えれば、各研修会の自主的な開催と運営が大きな役割を務めると理解を深め、運営に努めて参りました。個々には、地区ロータリー研修委員会との合同委員会による協力と、参加された 27 名の受講者の RLI に対する理解と熱意に感謝をする次第であります。

お陰様で、午後 1 時 30 分から休憩をはさんで、16 時 30 分過ぎまで意見交流を交えながら相互に自己研鑽に努める事が適いました。

ここで、第 2 回目のブラシュアップ研修の内容を大きく 2 点ほどご紹介させていただきます。先ず初めに、全体での研修は、「**デスクアッション・リーダーの責務**」をテーマに、RLI 日本支部役員 南園義一様編纂スライドを第 2790 地区用に編纂した P P T を用い、40 分間を DL の責務を再確認する重要事項を紹介し理解を深めました。次に、全員が受講生となり、2 名の参加者が DL 役を務め、話題は自己の選出したテーマに参加者が意見交流して行くスタイルで相互意見交流の技量を学びました。尚、参加された皆様には 2 月からのパート I 開催に向けての「**RLI 参加者テキスト**」を配布しました。

最後に、閉講式が行われ、クラブ研修委員長の白鳥政孝さんから講評を頂き、今後の RLI に関係した諸事連絡を RLI 小委員会海寶委員長から報告をして頂きました。

開催の日時が月曜日となりましたが、多くの DL 皆様の参加を賜り恙なく研修を終了できましたことを感謝いたします。誠にありがとうございました。

